専門教育科目　講義科目

科目名：	医療福祉経営論	科目コード	EB68
科目主査：	中村 誠司　　担当講師： 中村 誠司	単位	4
		配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

「医療福祉経営」とは、健康や医療に関わるサービスを提供する施設である病院、診療所、健診センター、老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーション、介護サービス事業所など医療福祉施設におけるマネジメント全般をさします。医療福祉の現場でマネジメントに携わる人々、医療福祉経営に関して専門的に学びたい人、医療産業や医療政策に関わりたい人などと、ヘルスケア全般について学んでいきます。本科目では企業経営で有効とされる理論のみならず、医療福祉の現場で想定される様々なケースについて考察し、実際の場面で応用可能なマネジメントに関する知識の修得を目指します。

履修の前提となる科目	☐ あり　☑ なし	**科目名：**可能な範囲で「現代の経営学」「経営戦略/経営戦略論※」「人材マネジメント戦略/人材マネジメント論※」などを先に単位取得しておくことでより理解が深まります。（※科目名称変更「旧科目名/新科目名」）
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読していることを前提に授業を進めます。よく理解できないところがあったら、マーキングしておきましょう。配布される補助資料にも、事前に目を通して、授業に臨んでください。なお、事前学習をチェックするための確認テスト（成績は評価しない）を実施します。	
テキスト	『ヘルスケア・マネジメント - 医療福祉経営の基本的視座 - 』中島 明彦, 同友館, 最新版	
この科目の 到達目標	①ヘルスサービスの特性やサービスの構造、サービスの交換過程、専門職組織の特性やマネジメントの特性が理解できる。 ②医療福祉における政策や制度の関わりから、政治学や行政学的な視点で考察する力が修得できる。	
成績評価 の 方 法	授業に取り組む姿勢【1日目の課題と振り返りテスト、授業参画度やグループワークを含む】と最終試験を評価対象とし、総合的に評価します。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。	

事後学習	参考となる図書（下記の参考文献など）を読んで理解を深めましょう。
事後学習の 参考文献	『対人援助職のためのファシリテーション入門』中村 誠司, 中央法規出版, 2017年 『医療福祉経営入門』中島 明彦, 同友館, 2017年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 **☑カメラ・マイクは必須となります。**